



アカオチ

んん…んっ
あなたはあの時の…ひッ…?

今朝、登校中の○美に声を掛けてきた男達が
下半身を丸出しにして立っていた
あの場は無視したもののそれ以降の記憶がない

○美は手足を拘束されており見知らぬ部屋にいた
咄嗟に拉致されたと気付く

くっ…私にこんなことして
ただで済むと思わないでしようね

怒りと恐怖で小刻みに体が震え
やや青冷めた表情で
顔を歪ませながら睨みつけてくる

んん…綺麗な足だね撫でていただけで
おじさん射精してしまいそうだ

触るな変態！寄るな…寄るな！

その強気な表情そるねえ
おじさんもう我慢できない

いやあああああああ
い、痛い、痛い、抜いて抜きなさい！

ズキッ

ズキッ

うっ きつつ 良い締め付け具合 こりやたまらん
ほら ○美ちゃんのオマンコが
おじさんのオチンチンすっぽり啜えこんでるよ

痛いっ 痛い！ 気持ち悪い止めて
誰か 誰か助けて！

ふう、ふう……こんな所誰も助けに来ないよ
言うこと聞けば肌に傷なんて
つけないから大人しくしろ



そろそろいきそう

○美ちゃんの中につぶり射精するからな

ちが、ちが、ちが

ドクドクドクドクドクドク

ドク

ドクドクドク

ドクドク

あ……ああ……くっ……こんな……こんな……
くっ死ね……死ね！死ね！

くっくっくっくっくっ

うわ 中に出しすぎ 後の奴の事も考えて出せよ

へへへわりわりい

びん

びん

う

ズブツ！ズブツ！

痛っ…やめ…やめなさい…やめてええ！

はあはあ…なんてきつきつなんだ
数往復したただけで出ちまいそうだぜ

ズリュ
ズリュツ

ぐっ…もうやめえ…つく
気持ち悪い…いやっ…いやあっ…

くっ、おとなしくしないと
今撮影している映像学校中にばらまくからな
変な気は起こすなよ

ぐっ…ひっく…ひっく…

ズ
ズ

ズ
ズ



ハァハァ出る そろそろ出るぞ
「カ月分の溜め込んだ精液たっつぷり出してやる

いいや...いや...
いやああああああああああ...

お、おい
「ムら暴れるな

ズン ヌチュ
ズリヨッ
ズリヨッ
きやあつ...!

あんまり手は上げたかねえんだが
大人しくしてねえとどうなるかわかるな?

ドピュッ!ピュッ
ピュルルッ!

あぁあ...あぁあ...あ...

はぁ~~~~気持ちいい~~~~

ドク

ピュ

ドク

ドク

ドク

ドク

ドク

ほくら初めてのおチンポの味はどーよ

グ
んんん おえ ぐちゅ おげええ げええええ

チンポ全体を口に捻じ込まれ、喉の奥まで飲み込み
嘔吐感がこみ上げる

くれぐれも噛み切るなんて行為に出るんじゃないかねーぞ
どうなるかわかってんだろーうな

ひやめろ…苦しい…うぐ…

もう抵抗が弱まってきてるぞ

気持ちよくて仕方ないんじゃないのか

（く…いつ…）

男を刺し殺すような視線で睨みつける

くくいつまでそんな状態でいられるか

これはこれで楽しみだ

抵抗も空しく絶望と拒絶感で思考が麻痺していく

ズ
ズ
ズ

ズ
ズ
ズ

ズ
ズ
ズ

ズ
ズ
ズ

あれから大分経ったがおじさん全然萎えないぞ
それだけ○美ちゃんが魅力的なんだな

ほら、お尻こっちに向けて

もはや抵抗する気もなく言われたとおりにする○美
怒張したチンポをゆっくりとオマングコにあてがい
それを見た彼女の眼が少し強張った

おほおっ いやらしく尻突き出しちゃって
そんなに我慢出来なかったのか

ふん…あんたが言ったんでしようが

今日初めてセックスしたのにもう寛容的？

今時の若い子は皆そうなんかね

それともおじさんが初めての相手だからっくく

くっ…くっ…くっ…あああっ

くちゅり くちゅ…くちゅくちゅ

入り口に擦り付け○美の反応を見る

何度も擦られ徐々に快感が芽生え男の顔を

憎しみと困惑が混ざった表情で睨み上げてくる○美の

瞳の奥に艶やかで淫靡な光を纏っていた

んっ ああ…いやあ…

オマングコから溢れ続ける愛液が

チンポや太ももを伝い落ちていく

ねっとり流れ落ちた粘液はやがて

シーツへとたどりつき幾重にもそのシミを広げていく

そのせいかいつしか部屋の中は

ムワツとした雄と雌の匂いに満たされていた

は...ふん

ふん！ふん！ふん！

男は夢中で膣の最奥にチンポを叩きつけ快感を貪り腰とお尻のぶつかり合う音が部屋中に響く

あつ あつ こ、声が...んん...出ちやっ...うっ...ああつ

おじさんとO美ちゃんの繋がっているところが丸見えだよチンポぱっくり啜えこんで美味しそうに吸い付いて...

みつ 見るな...ああ...だ、だめえ...

汁までこんなに垂れ流してすっかり淫乱だな

ち...ちがう...うっ...はあつ

柔らかな褌がチンポ全体に絡みつきもつと奥へ、奥へと誘われる
亀頭全体からカリの段差までその褌がうねうねと絡みつくのを感じ
ゾワゾワとした快感が一気に背筋を駆け上った

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

うっ 中にッ 腔中に出すぞっ…!
だっ、ためえーやめてっ…!

ドピュッ！ビュルルッ！ドク！ドク！

流れ出るような射精感が尿道を駆け抜けると
一気に亀頭の先端から白濁液が噴出し
腔内を白く染め上げる

んあっ！ 出てる…熱いのが出てる…うっうっ

オマングはそのままギュッと
根元から亀頭までを搾り出すように
ぐにぐにと締め付け最後の二滴まで
中に搾り出されていった

んっ

んっ

んっ
んっ
んっ
んっ

んっ

んっ
んっ

んっ
んっ

んっ

んっ



まったく、最近の○○生はけしからん
こんなにエロい体しておつて……ううっ

プニユ ヌチユ ダニユ・グニユ

そう言いながらチンポを
ふたつの乳肉に挟みこんだ
男はゆっくりと上下運動を始める
むにゅつと密着したふるふるのおっぱいに埋められた
チンポは擦りあげられるたびにピクピクと跳ねている

んっ……んっ……んっ……

うっ……うりやたまらん

ッポポ

ッポ

はあ……はあ……うっ……うっ……ちも奥まで啜えて

舌を絡めながら「んぐんぐんぐ」と喉の奥へと
チンポを啜え込んでいく。
時折、カリから裏スジを通り尿道口を
甘く刺激してくる舌に
男はビクンと全身を奮わせた

ジュラッ……ジュボジュボッ……

んぐっ……んんん……
ぐぶっ……えぐ……うっ……うっ……

ッポポ

ん

へへ 今日が初めてだったのに随分上達したな
オチンチンがとろけそうだ……

ん

ッポ

ッポ

ッポ

「ぐっぐっ」した指がゆっくりとオマンコの表面を滑っていく
割れ目から溢れ出す甘い蜜が擦りあがる指に絡むと
にちやにちやとエッチな水音を周囲に響かせる

グチュグチュグチュ ヌチャ

もうこんなにぐしよぐしよだよ

◎美ちゃんのオマンコはほんとにえっちだな

んっ...あ...んんっ...くっくっ...
いや...あ...ああ...んんっ

おじさんの指はどうかな？

これはこれで気持ち良いだろ？

にゆるりとオマンコに滑り込んだ指
が膣内をくちゆくちゆとかき回しながら
クリトリスはさらに激しく刺激される

ガク ガク ビクビクッ

ひやあああ...あっ...あっ...はあ...んっ...こんな...んっ
いまっ...までに...あん...くらべ...たらっ...んっ
せ...せんせん...へいき...あっ...なんだか...

へっ...やっぱりの美ちゃんはオチンチンの方が好きなのかな
ちがっ...っ...っ...はあん...

ほらほら お望みのオチンポだぞ

ズリュ スプスプ…

あぁっあぁっ…あ…い…っ…

あああああああ…っ…

ガクガクガク…ピクン・プシン…ピクピク

入れた瞬間イっちゃったか

もうオチンチンがたまらない体になっちゃったんだね

あっ あっ…ううっ…んああ…あああ

尚も波のように襲ってくる快感に耐え切れず
○美はその都度大きく身体を震わせた

あぁっ…はっはっ…あぁっらめっ
うご…かあぁっ…ない…でえっ
ひうっい…あぁっ

絶頂中も○美の体を突き上げながら
ピストンを繰り返し何度も
膣の最奥をチンポでノックした

ズリュッ ジュプ…ジュブジュブ…

くうっなんて締め付けだっ
たっぷり膣に吐き出してやる ううっ

腰の辺りが甘く痺れ始め亀頭の先端から
白濁した精液がほとばしりそうになる

ビクツビクツとチンポが震えるたびに
尿道に残ったザーメンが勢いよく射出される

執拗に膣に射精され続け○美は
熱い吐息を零しながら全身の力が抜けた、途端

ツヨポツヨポ ツヨロロロロ

きらきら黄金に輝くおしっこが男の体に降りかかる
もはや途中で止める事も叶わない

いっいや…ああああああ…ひっく…ひっく

へへ 我慢出来ずにお漏らししちゃったか
おじさんばっかり出してたからな
○美ちゃんも沢山出していいんだよ
おじさんが全部飲んであげるからね
んぐんぐ

んっ…ああ…んんっ…ああ…あ…

ブル ブルツ

涙を浮かべ眉根を寄せ息を荒げている
姿を見ると男の嗜虐心を非常にそそり
さらなる興奮を呼んだ



ズキ
ズキ

ズキ

今度は○美ちゃんが好きのように
動いていいから
そうそう ゆっくり腰を落として

ズキ

チュプ グチュ：ズリュ：ズリュ
んんんっ…はあっ…んっそ…

ズキ
ズキ
ズキ

少しずつ腰を下ろしてくる○美のオマンコの中を
熱い肉棒が埋められていく。
かなり濡れているとはいえ先程の余韻があるのか
時折痙攣をおこし動きがぎこちない

はあ…うっ…ああ…んっく…

ズキ

はあ…はあ…大分素直になってきたな
おじさんも気持ちよくて嬉しいよ
よし おじさんが動くから
○美ちゃんはそのままじっとして

強い締め付けに今にもイキそうになるが
まだまだ快感を貪りたいと気合を入れて腰を突き上げる

~~~~~深い…深い…深いのおおお  
んはあっ

○美も無意識のうちに腰を動かし  
快感を貪るように行為に没頭していた



それじゃあ今度は私の晩だな

いつの間にか息を荒くしている  
男が増えていた

予定通りの美ちゃんを犯していると連絡がきて  
居ても立っても居られず  
仕事放りだしてきちゃったよ〜ふっふっ

そう言おうと男はいきなり全裸になり  
チュ チンポを○美の前に曝け出す

ふっふっふっふっ...

ふっふっふっふっ...

○美ちゃんの前にオチンチン  
出してるだけで射精しちゃいそう

この日のためにいっぱい溜め込んでたからね  
パンパンに張った玉袋から優しく愛撫して

んぐ...んぐ...んぐ...ちゅぶ...

ちゅぽっ...ちゅっ...ちゅっ...

んっ...くさっ...

はあはあ...こんな感じれふか...

おああ...いい感じ...

○美ちゃんされてると思いつと  
一瞬でイキそうだ うっうっ

チンポを片手でシコシコと扱きながら

タマを吸い上げられ引っ張られると

痛みとも快感とも言えぬ不思議な感覚に襲われる

口の中でコロコロと舌でタマを転がしながら

じゅるると全体を吸い上げてくる

男はギンギンに勃起したチンポを頬にこすりつけてきた

うっうっ とりあえず…うっうっ発目出すぞっ…!

腰の辺りが甘く痺れ始め亀頭の先端から  
白濁の黄みがかかった精液が勢いよくほとばしり  
○美の身体に降り注ぐ

ビュルルル  
ピタッ

シタポ

い…いやあ…熱い…

あぁ 射精が止まらん…!

うっうっ

ビュルルルッ  
ゴッラッ  
ゴッラッ  
ピュッッ…

放出を続ける熱い精液は雪のように降り  
○美の色白の肌をべっとりと付着した精液で更に白く染めていく

今度は口を大きく開けて  
大丈夫大丈夫、優しくするから

はあはあ…無理…んっ…

こんなに…はあはあ…こんなに大きい無理…

唾液でねっとり、べとべととした口を  
ゆっくり開かせチンポを  
喉へめがけ直進させる



あああはあっ…○美ちゃんフェラ上手だね  
おじさんが来るまで二体何回啜えこんだんだい？

んっ…いやっ…そんな…んっ…してない…

んんんっ…んぐんぐ…じゅるっ  
げほっ…んっ…んっ…んっ

思わず腰が浮いてしまうような  
強烈な快感に支配された

んほお…「こりやたまらん！  
ほら先端も念入りに舐めて

んぐっ…んふう…んっ

レロ…レロレロ…  
レロ…レロ…レロレロ

激しくバキュームされると  
まるで腰の辺りを全て吸い込まれて  
いるような快感の錯覚に陥る

ジュポ…ジュポ…ジュポ…ジュポ…



○美は激しく頭を前後しながらぐるぐると舌を走りまわらせる。舌先が尿道口をプチュツと刺激した瞬間、我慢できずに熱い塊が腰から一気に放出された。

うっはあはあ…イクツ  
飲んで…ああ…あああつ…

ド。ビュツ…ビュツ…ビュツ…  
ビュク…ビュク…ビュク…

幾度となく波が押し寄せ、寄せるようにドクツドクツと喉の奥に精液が吐き出されていく。○美は口内に残った熱いザーメンをコクコクと喉を鳴らして飲み込んだ。

後ろからゆっくりと柔らかかなオマンコの中へと  
熱くたぎったチンポを挿入していく  
飲み込んでいく膣口は火傷しそうなほどに熱く  
愛液で溢れかえっていた

ぬおおおっ気持ちいい  
気持ちいいよ○美ちゃん！

ずぶずぶと入った途端に抽送運動が始まり  
膣内の肉がチンポを飲みこむ  
さらに奥へとチンポを捻じ込むたびに快樂の波が  
全身を押し寄せ互いを狂わせた

ひゃあっー ひゅーひゅー  
ん…くうっ…す…おっぎい…あっ…ああっ…  
ズリュ ヌリュ…パン…パン…パン…

尻肉を鷺掴みにして後ろから突くたびに  
熱いチンポは彼女のオマンコに深々と突き刺さった  
最奥の子宮口を何度も貫くたびに  
膣壁がぬらぬらと絡みつきいやらしい刺激が伝わってくる

ああああ…だ…めええええ…あっああっ！  
おかしく…んあっ…おかしくなるのおお…

かほ





―数カ月後―…ピチャ。ピチャといやらしい水音が響き渡る  
あれから〇美はすぐに妊娠  
今でも男達に陵辱の限りを尽くされていた

はあ はあ…〇美ちゃんもつと口窄めて…

んっ…んっ…

ズリルルルル ジュポッ ジュポジュポッ

ああ…ああ そうそう いいよ うっ

大股開きにさせプリプリしたお尻を  
腰に密着させるようにズブズブと  
チンポを膣奥へと沈めていく

夢中で腰を振るたびに  
大きなお腹がゆれ  
ポテ腹の美少女を犯すと言う事に、  
より性的興奮を強く煽る

ズチユツ！パン！パン！ズチユズチユ！

おじさんと〇美ちゃんの子だといいな  
このお腹の中に我が子がいると思うと  
興奮がおさまらないよ

激しい快感の波をひたすら受け  
生気の宿っていない瞳で虚ろな表情を見せている  
挿入を繰り返すたびに小刻みにあがる  
喘ぎ声はもはや別人だ

ズチユツ

プレッ

ジュポ

ジュポ

ジュポ

ジュポ

ジュポ

ジュポ

ジュポ

んふふっ 最低なおじ様 ねえ…早くお腹の中  
精子でいっぱいにしてえ〜 あっ…ああっ…!

はあはあ 喉に出すぞ  
こぼさずしっかり飲みよ  
んっ おおおおおお…!

ほろっ じゅちも下のお口もたっぷり飲ませてやるよ  
うっ…ぐっ ぬおおおおお…!

プジュッ…ドジュッ ビュク ビュク…  
ビュルッ…ゴジュッ ビュッ… ドプ…ドプ…

ビクッ…ビクビクビク

んっ… じゅち…じゅち…んっ  
「じゅち…」んっ…

はあ…はあ…喉も…  
オマンコも…んっ ぜんぶ…ぜんぶ…  
きもじゅち…んっ…んっ…  
もっ…おちよ…んっ…んっ…  
んぐんぐ…ちゅぽんっ…!

んっ  
んっ  
んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ…ジユプ えう ちゅるっ

ジユプ…ジユルルル

ジュポ

ズツ

ジュ

お…おお…いいかんじだ  
先端~~を~~念入りに舐めて

龟头をにゆるつと口内に含むと  
強く吸い上げながら尿道口と裏スジを  
尖らせた舌の先端で攻め始めた

ズツ

ズツ

ズツ

あっ…んっ…んっ…んんっ  
あんっ…もっ…もっ…もっ…とオチンチン突きさしてえ…

左右から乳肉をギユツと押し寄せチンポを  
圧迫しながらガンガンに腰を突き動かしていく  
肉をぶつけ合うたびに零れるおっぱいが  
前後にブルンブルンと激しく揺さぶられていた

うおっ…おお…はあっはあっ  
にしても毎日求めるなんて  
エロイ妊婦さんだぜ  
こちらら全然飽きないから  
良いんだけどよ

うっ イクッ！  
綺麗な顔にぶっかけてやる

ビュブツッ...ド。ド。ド...。ド。ド。ド...。ド。ド。ド...

チンポをその中心に挟みこんだ胸の谷間から勢いよく精液が噴出するむにゅっと密着したふりふりのおっぱいは精液にまみれてらてらに、埋められたチンポは乳肉の中でピクピクと跳ねている

あぁっ...あぁっ...んっ あはっ  
おちんちん...んっ 凄い...ピクピクしてる  
もっど...あんっ...もっど 沢山浴びせてえ

顔、胸に吐かれた精液を指ですくいあげると甘い蜜を舐めとるかのようにいやらしく舌を出した  
たったいま精を吐き出したばかりだということの  
その姿を見た男達のチンポは再び首を持ち上げた

あっ…はっ…はっ…んんっ  
んっ…すっ…っ…硬い…いんっ…

ほらそっちの手もちやんとしぐいであげないと

チンポの先端から溢れ出す我慢汁を指で  
すくって肉棒全体に塗りたくっていく

んっ…んっ…んっ…んっ…

んちゅっ…びゅん…

じゅん…じゅん…

ぬちやぬちやといやらしく手で  
擦り上げる下でチンポがオマンコへと  
激しく出たり入ったりしている

もう○美ちやんの膣内にはか排泄出来ないわ  
何度でも孕ませてあげるからね

んはあっ…うれしい…あっ…あっ  
何度でも産むからいっばい  
精子ください…んあっ…ああっ…



あっ…あっ…あっ…イクッ…イツちやう…  
んっあっあっイク…イクイクイクウウウウ…

ビュル！ビュブビュブッ！  
ドピュッ！ビュクビュクッ！  
ドプッ ドプドプ

彼女は髪を振り乱し  
撒き散らす汗をキラキラと  
輝かせながらチンポの上でよがり狂っていた

ああんっ…熱い…んっああんっ  
いっぱい流れ込んでくるっ…んっ  
きもち…いっ…いい…はあっ…

膨張したチンポからこれ以上ないくらいじゅくじゅくに  
潤っているオマンコへとザーメンが注がれていく  
一滴残らず搾り取るうっとうねうねと蠢く膣内がイッたばかりの  
チンポに更なる刺激を与え続け射精の波はいつまでも続いた

ふう…ふう…これからもずっとずっと  
ハメ続けてあげるからね

